

# 京都府ナースセンター通信 2026年1月号

## 2025年度 訪問看護事業実態調査について

京都府ナースセンターでは、毎年4月に訪問看護事業実態調査に取り組んでいます。京都府内の訪問看護の実態や訪問看護ステーションの実情を把握し、質向上を図るための基礎資料とし、それぞれの活動に活かすことを目的でおこなっています。

今回は、今年度の訪問看護事業実態調査についてお伝えします。2025年4月1日の時点で設立1年以上の京都府内の訪問看護ステーション427事業所にアンケートを依頼、317事業所から回答を頂き、回収率は74.2%でした。

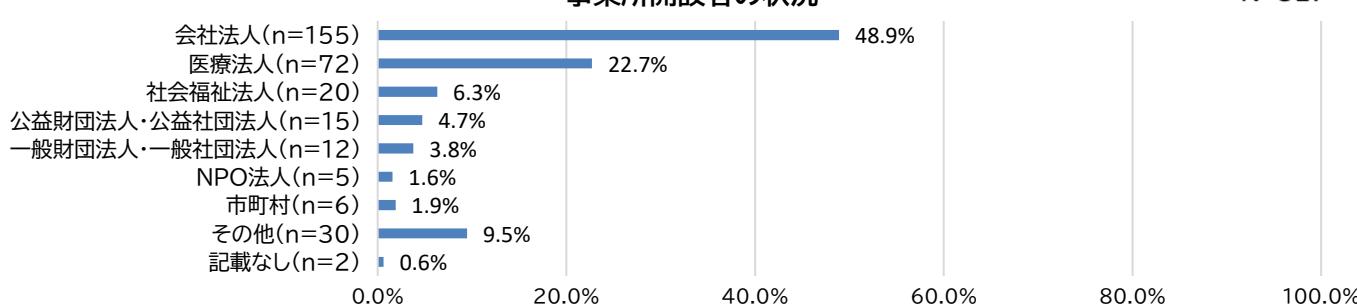
事業所数は前年度より増加しており、特に山城北と京都市内では右京・伏見区は昨年と比べ増加しています。

### 訪問看護ステーション事業所数の推移



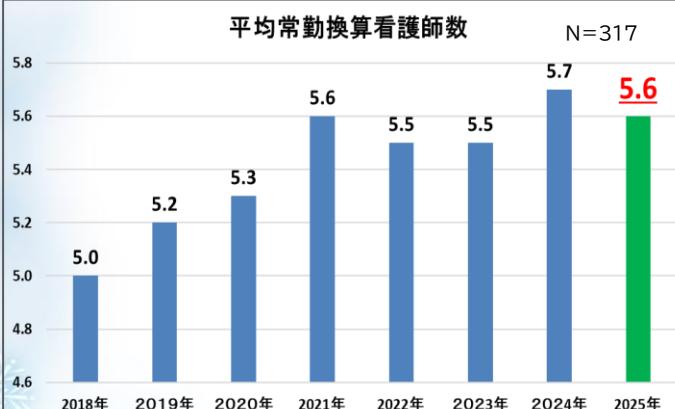
事業所の開設者は会社法人が昨年と同様に最も多い状況です。

### 事業所開設者の状況

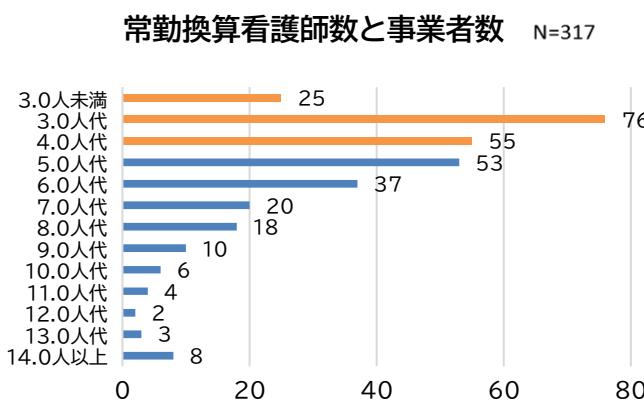


看護職員の体制については、一事業所の看護職員平均常勤換算数は5.6人。昨年より0.1人減少していますが、5.0人未満の事業所が占める割合は49.2%と昨年と同様に約半数の訪問看護ステーションが少ないスタッフ数で運営されています。

### 平均常勤換算看護師数



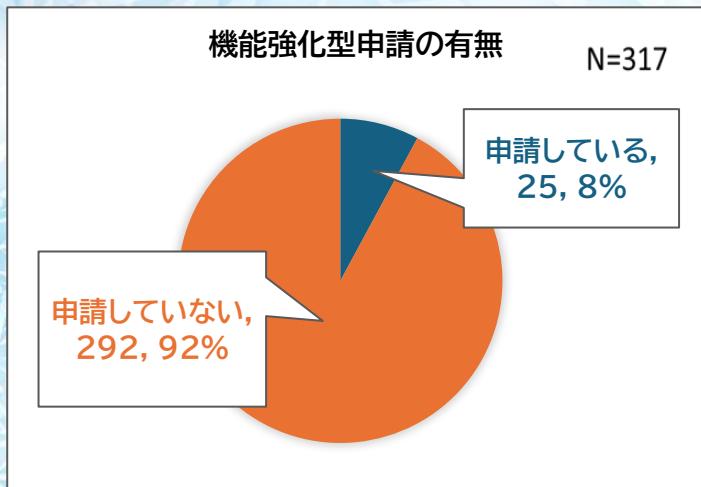
### 常勤換算看護師数と事業者数



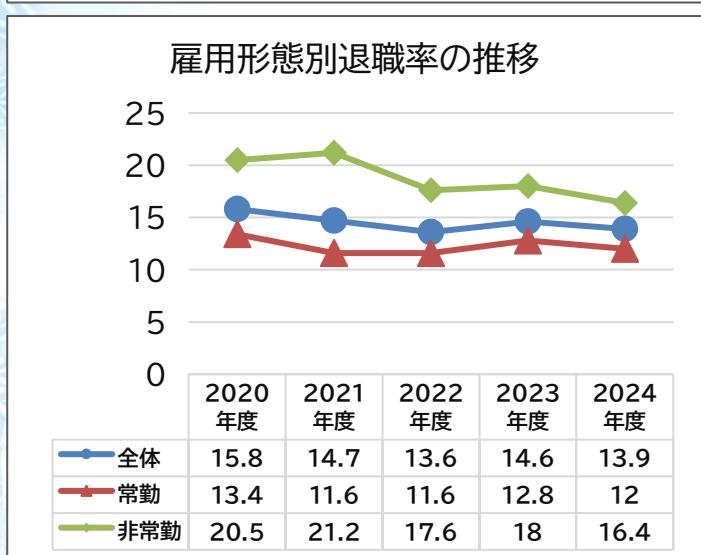
訪問看護ステーションにおける、リハビリスタッフの体制については、リハビリ職員(PT・OT・ST)を雇用している事業所は全体の47.3%(150事業所)と毎年増加、訪問件数も増加しています。

### リハビリ職員の雇用状況の推移

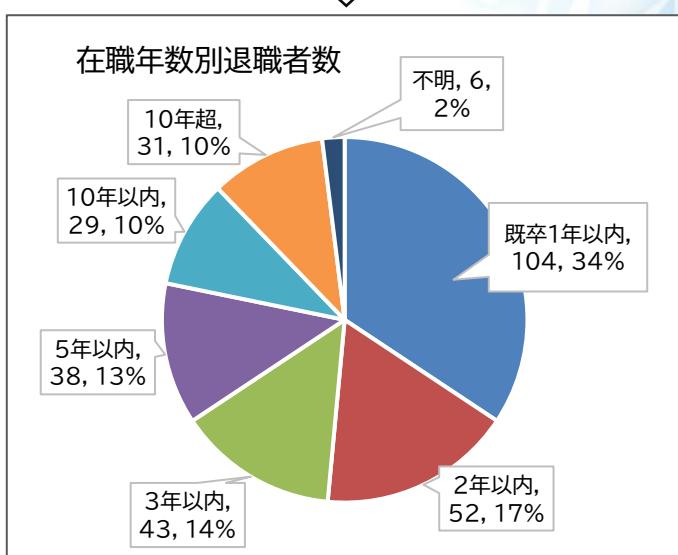




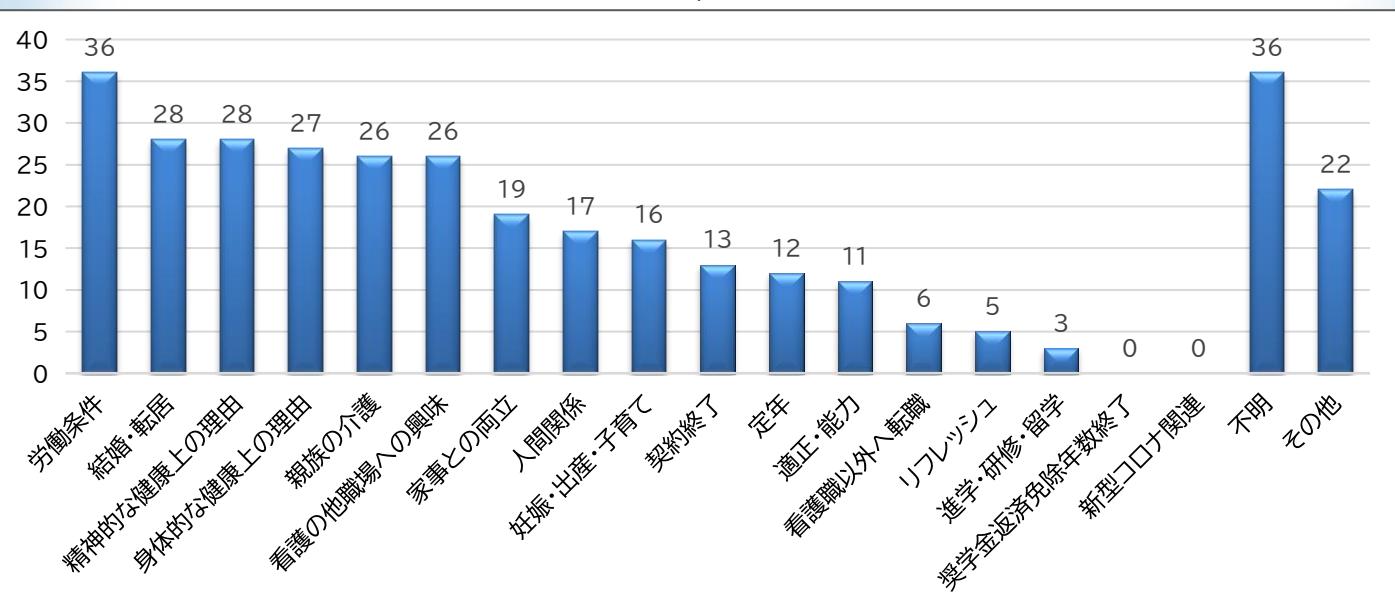
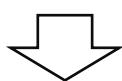
機能強化型の申請事業者数は、全体の 8%、昨年の 6%から微増。申請内容は I 型:6 施設 II 型:7 施設 III型:12 施設であり、機能強化型の申請はまだ少ない状況です。



訪問看護ステーションの退職率は 13.9%。前年度の 14.6%より減少しています。しかし、在職年数で見ると入職1年以内の退職者が多く、全体の 34%を占めている状況です。



退職理由は、「労働条件」が一番多く、「結婚・転居」「精神的な健康上の理由」「身体的な健康上の理由」「親族の介護」「看護の他職場への興味」と続いています。



訪問看護ステーション事業所数は年々増加しており、訪問看護ステーションの求人登録数も増加しています。訪問看護に興味がある方、具体的に勤務条件が知りたい方、訪問看護をしてみようかなと思った方、是非、ナースセンターに問い合わせください。

訪問看護実態調査結果の詳細につきましては、公益社団法人京都府看護協会機関紙「看護きょうと vol.199」に掲載しております。

常任理事 矢田貴子